

2023年度通常（第4回）理事会議事録

1. 日 時：2024年 2月 24日（土） 11:00 ~ 16:00

2. 場 所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階会議室

オンライン会議システム ZOOM を併用での開催

3 出席状況

出席理事 28名

出席監事 3名

出席オブザーバー 12名

・JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

理事

馬場益弘、中澤信夫、富田三和子、中村隆夫、安藤淳、大村雅一、望月宣武、長塚奉司

以上 8名

オブザーバー

浅田総務委員長

以上 1名

・オンライン参加（自宅）

理事

宮野幹弘、尾形依子、萩原ゆき、中村和哉、永井真美、大垣俊朗、船澤泰隆、高橋祐司、

中島量敏、目瀬好男、加賀谷賢二、磯部君江、斎藤修、五十川浩司、石川彰、井上貴支、

安田大助、沼田浩行、関一人、高間信行

以上 20名

監事

上野保、紙谷雅子、鈴木保夫

以上 3名

オブザーバー

松田財政委員長、平松事業開発委員長、長田レディース委員長、増田ルール委員長、

堀川国際委員長、黒川国民スポーツ大会委員長、宮本オリンピック強化委員長、

久保田キールボート強化委員長、川合外洋計測委員長、坂口外洋通信委員長、斎藤参与

以上 11名

議事の経過及び結果

対面開催と ZOOM 併用でのハイブリット方式で開催した。出席者の音声と映像が同時に他の出席者に伝わることを確認し、適時的確な意見表明がお互いに出来る仕組みになっていることを参加者各位に確認し、議案の審議を下記のとおり開催した。

(定足数の確認)

理事 30 名中、出席者 28 名により、定款 34 条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立した。

(議長による開会宣言)

定款 33 条に基づいて、馬場益弘会長が議長となり、2023 年度通常（第 4 回）理事会の開会を宣言し、議事進行を安藤淳専務理事に委任した。

（議事録署名人）

本理事会の議事録署名人として、議長指名により、加賀谷賢二、五十川浩司の両理事が任命された。

【審議事項】

1. 2023 年度第 2 次補正予算案、特定費用準備資金の取崩について

松田財政委員長から、2023 年度第 2 次補正予算案、特定費用準備資金の取崩について、資料に基づき説明があった。

2023 年度第 2 次補正予算案、特定費用準備資金の取崩ともに満場一致で承認された。

2. 2024 年度 JSAF 方針及び事業計画案について

安藤専務理事から、2024 年度 JSAF 方針及び事業計画案について、資料に基づき説明があった。

満場一致承認された。

3. 2024 年度予算案について

松田財政委員長から、2024 年度予算案について、資料に基づき説明があった。

望月常務理事から、特定費用準備金の取り崩しを現状のペースで行った場合、何年ぐらい持つのかと質問があった。

松田財政委員長から、何せずに現状のペースで毎年 2 千万ずつ取崩しを行うと、4~5 年程度で資金が枯渇すると説明があった。

中村副会長から、東京 2020 のために蓄えていた協賛金も、あと数年で枯渇してしまう。東京 2020 が終わり協賛企業も少なくなる中、JSC から組織基盤強化の助成金をいただき 2 年間基盤強化を行ってきたが、上手く進んでいない状況である。現状のまま進むと、赤字を減らしていくかなければならなくなる。各委員会の皆様はなるべく効率的に活動をしていただきたいと追加説明があった。

上野監事から、予算案の中で、事業活動支出の中に記載されている、業務委託支出と雑役務費が前年度と大きく予算金額が変わっていることについて教えて欲しいと発言があった。

寺澤局長から、助成金支出科目を誤って計上してしまった。確認して修正すると発言があった。

満場一致承認された。

4. 連盟における業務委託先の選定および発注の手続きに関する件について

松田財政委員長から、連盟における業務委託先の選定および発注の手続きに関する件について、資料に基づき説明があった。

満場一致で承認された。

5. 特別加盟団体申請（NPO 油壺湾特別泊地協会）について

浅田総務委員長から、特別加盟団体申請（NPO 油壺湾特別泊地協会）について、資料に基づき説明があった。

満場一致で承認された。

6. JSAF 規程改定について

増田ルール委員長から、JSAF 規程改定について、資料に基づき説明があった。

満場一致で承認された。

7. 国体セーリング競技役員編成基準の改正/国スポ副委員長の追加について

黒川国民スポーツ大会委員長から、国体セーリング競技役員編成基準の改正、国スポ副委員長の追加について、資料に基づき説明があった。

満場一致で承認された。

8. パラセーリング強化選手の認定について

高間パラセーリング委員長から、パラセーリング強化選手の認定について、資料に基づき説明があった。

満場一致で承認された。

9. スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>原則 2 (3) ②に該当する対象役員候補者について

安藤専務理事から、スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>原則 2 (3) ②に該当する対象役員候補者について、資料に基づき説明があった。

満場一致で承認された。

【協議事項】

1. 「運営規則」改訂（加盟団体規程新設）について

安藤専務理事から、「運営規則」改訂（加盟団体規程新設）について論点整理が出来ていないため、次回理事会で協議させていただきたいと説明があった。

次回理事会で引き続き協議することになった。

2. 「ユニフォーム規程」改定について

宮本オリンピック強化委員長から「ユニフォーム規程」改定について、資料に基づき説明があった。

JOC の NF ジョイントマーケティングに参画し、規定の整備、新ユニフォーム導入に向けて活動していると説明があった。

次回理事会で審議事項にすることになった。

3. 「ナショナル・ジャッジ、ナショナル・アンパイア規程」改定について

増田ルール委員長から「ナショナル・ジャッジ、ナショナル・アンパイア規程」改定について、資料に基づき説明があった。

大垣理事から、最長 1 年としていたものを、RRS 改訂までとするとした場合は 1 年未満になる場合もあるという事で間違いないか。また検定の使い方について検定に合格していないと大会に参加出来ないと言う場合もあるのか、趣味的な形で取れる人が取ると言う感じになるのか、今後の展開について教えて欲しいと質問があった。

増田ルール委員長から、期限については、その認識で間違いない。

検定については何かの資格のために必要、大会に出場するために必要にするなどは考えていない。
あくまで検定制度として考えていると回答があった。

次回理事会で審議事項にすることになった。

【報告事項】

(1) 業務執行理事報告（能登半島地震災害義援金、経営企画室報告、海プロ事業 2024）

安藤専務理事から、能登半島地震災害義援金について十数万円の義援金が集まっている。3 月 31 日まで募集していると報告があった。

望月常務理事から、資料に基づき、経営企画室報告の情報プラットホームプロジェクトについて会員管理システムを新しい物に作り替え、資格などの情報を一元管理できるようにするために各委員会と相談しながら進めている、団体負担金などについて進捗報告があった。

大村常務理事から、団体負担金に関する説明は、日本セーリング連盟の公式な見解と受け取って良いのかと質問があった。

望月常務理事から、本日の説明は経営企画室として情報プラットホームについて考えて行く中で、団体負担金についての問題になってくる可能性があるという事で、私なりの理解を説明しているので日本セーリング連盟の公式な見解と言う訳ではないと回答があった。

船澤理事から、海プロ事業 2024 年度分について既に締切りをしている。日本財団からは、学び、海に接することを大切にして欲しい。他の海辺のスポーツと一緒に体験して欲しいと要望がありハンザを用いたインクルーシブな体験会など、今年できることを追加してしていく議論を行っていると報告があった。

(2) 医事・科学委員会ドーピング小委員会の本委員会（アンチドーピング委員会（仮称）への変更

安藤専務理事から、資料に基づき、医事・科学委員会ドーピング小委員会の本委員会（アンチドーピング委員会（仮称）への変更報告があつた。

(3) 愛知名古屋アジア大会セーリング競技実行計画進捗状況（TOM 公募状況報告）

安藤専務理事から、資料に基づき、愛知名古屋アジア大会セーリング競技実行計画進捗状況（TOM 公募状況報告）について 2 名の応募があり、JSAF として今後、組織委員会と相談していくと報告があつた。

(4) 愛知名古屋アジア大会セーリング競技開催国提案艇種選定状況

安藤専務理事から、資料に基づき、愛知名古屋アジア大会セーリング競技開催国提案艇種選定状況について、アジア大会の実施種目は組織委員会、OCA、アジアセーリング連盟の協議によって決定する。今後、JSAF として実施種目を推薦していく、2024 年 3~4 月に仮決定し 2024 年 10~12 月にアジアセーリング連盟の総会で最終決定されると報告があつた。

(5) SS 艇種 3 者覚書再締結の件

安藤専務理事から、資料に基づき、SS 艇種 3 者覚書再締結の件について令和 6 年（2024 年）2 月 1 日（木）から SS 級の標準装備、価格改定を行った報告があつた。

(6) 総務委員会報告（2023 年度コンプライアンス研修）

浅田総務委員長から、資料に基づき、2023 年度コンプライアンス研修は、現在 38 名の方が受講している。理事の立候補者について、2 月 22 日に応募を締切り、男女ともに定員 4 名のところ男性 6 名、女性 5 名の立候補があつた。電子投票の案内、水域推薦理事の案内など、今後案内していく。

国体委員会から国スプ委員会の名称の変更に伴い、軽微な規定の変更は軽微な手続きにならないかとレースマネジメント委員会から相談があり軽微な変更については、大きな変更については、今までと変わらず、協議事項、審議事項と 2 回の理事会で決めていくが、軽微な変更については、審議事項のみで行う。本日の理事会終了後コンプライアンス委員会を開催すると報告があつた。

(7) オリンピック強化委員会報告（2024年度コーチ・スタッフ選任他）

宮本オリンピック強化委員長から、資料に基づき、2024年度コーチ・スタッフ選任他についてナショナルチームコーチAの応募は継続6名、新規2名（1名辞退）、メディカルスタッフA（トレーナー）は1名の応募があり、船澤理事、宮本委員長、中村ヘッドコーチの3名で応募者と面談しナショナルチームコーチAとメディカルスタッフAを決定した。

Paris2024 本大会に向けた各種準備を行っている。直近の国枠が獲得できる大会で国枠の獲得はできていない。ILCAとiQFOiLの世界選手権が終わり ILCA 7のみ世界選手権の50%以内に1名の選手が入ったが国枠の獲得は出来なかった。ラストチャンスレガッタで国枠を獲得してもらえるように協力していくと報告があった。

(8) パラセーリング委員会報告

高間パラセーリング委員長から、資料に基づき、パラセーリング委員会報告、次年度のパラセーリング強化候補選手の公募について報告があった。

(9) 国際委員会報告

堀川国際委員長から、資料に基づき、World Sailing 年次総会、オリンピックビジョンなどについて資料に基づき報告があった。

(10) レースマネジメント委員会報告（2024年度全日本選手権等セーリング競技日程）

高橋レースマネジメント委員から、2024年度全日本選手権等セーリング競技日程について資料に基づき報告があった。

(11) ルール委員会報告

増田ルール委員長から、資料に基づき、大会における上告権利の否認の承認報告について2件報告があった。

(12) ODC 計測委員会報告（IMセミナー）

中村ODC計測委員長から、資料に基づき、IMセミナーを4月19~21日の期間に開催すると報告があった。

(13) 普及指導委員会報告

安藤専務理事から、普及指導委員会報告について配布した資料の確認をお願い致しますと説明があった。

(14) 国際大会等準備委員会（ENEOS事業）

船澤国際大会等準備副委員長から、資料に基づき、国際大会等準備委員会のENEOS事業について2024年度に向けた活動予定の報告があった。

(15) 新年会及びJSAF 定期表彰式（含むENEOS 表彰）収支報告／パリオリンピック壮行会

富田副会長から、資料に基づき、新年会及びJSAF 定期表彰式（含むENEOS 表彰）収支報告／パリオリンピック壮行会について報告があった。

(16) ボートショー2024 JSAF ブース企画

大村常務理事から、資料に基づき、ボートショー2024がパシフィコ横浜、ベイサイドマリーナにて3月21～24日に開催されJSAF ブースでの企画についてなど報告があった。

(17) 2023年度委員会事業報告・決算提出依頼

松田財政委員長から、2023年度委員会事業報告・決算提出依頼について、資料に基づき報告があった。

(18) 2024年行事予定（案）

(19) 2023年度メンバー登録数（1月31日現在）

(20) 2023年度通常第3回理事会議事録案（12月2日）

(21) その他

上記の項目について、寺澤事務局長からまとめて報告があった。

以上をもって、オンライン会議システムZOOMを使用し終始異常なく、議事全てを終了したので、議長は16時00分に閉会を宣した。

2023年度通常（第4回）理事会は、上記の通り同意ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名・捺印する。

2023年 2月 24日

議長	馬場益弘
議事録署名人	理事 加賀谷 賢二
議事録署名人	理事 五十川 浩司
副会長	中澤信夫
副会長	富田三和子
副会長	中村隆夫
専務理事	安藤淳

常務理事 大村 雅一

常務理事 望月 宣武

監事 上野 保

監事 紙谷 雅子

監事 鈴木 保夫